

## 三次ピオーネ生産組合 後継者の加入・育成進む

【平成 28 年 5 月 17 日掲載】

(農)三次ピオーネ生産組合(石田博人(いしだひろと)組合長 19 戸)では、平成 25 年度加入の2名、平成 26 年度加入の3名と現在研修中の1名(組合員候補)の計6名が、経営や栽培管理技術の習得に取り組んでいます。

農業技術大学を卒業した加入2年目の片山正彦(かたやまさひこ)さん(21 歳)は、「実際にブドウを栽培してみると、圃場や樹ごとに生育が違い、作業をどうするか迷うことが多い。想像していたよりもはるかに難しいが、何としてもブドウ作りをものにしたい。」と話しています。会社

勤務を経験後、平成 27 年1月から加入した松本雄平(まつもとゆうへい)さん(31 歳)は、「会社員時代とは違い、自分の考えをほぼ100%栽培管理に反映でき、大変やりがいがある。組合が新品種として導入を図っているシャインマスカットを、ピオーネに続くブランドとして皆と協力して育てていきたい。」と大変意欲的です。



【左から片山さん、松本さん、石田組合長、  
研修中の佐野さん、石本組合員、兒玉さん】



【摘粒作業中の片山さん】

(農)三次ピオーネ生産組合は、平成 26 年に設立 40 周年を迎え、若い後継者の新たな発想を積極的に取り入れることにより、さらなる発展が期待されます。

北部農業技術指導所では、JA 三次と連携し、後継者を含めた全組合員に対し栽培技術講習会を実施しており、併せて新たな後継者の育成を推進していきます。

情報提供元

北部農業技術指導所